


# 誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立下小岩小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和8年度の目標	70.0%	70.0%
令和7年度の目標	70.0%	70.0%
令和6年度の結果	51.0%	52.0%
令和5年度の結果	59.0%	46.0%

令和6年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第6学年	46.8%	59.0%
第5学年	60.3%	64.3%
第4学年	50.6%	48.2%
第3学年	53.6%	54.8%

 ともに、生きる。 <b>江戸川区</b>	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語においては、江戸川区スタンダードを基盤とした授業研究を各学年で行い、校内研究をすすめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ベーシックドリル診断テスト・江戸川区定着度調査を学期ごと（年3回）に実施する。</li> <li>・診断テスト・定着度調査を基に個人カルテを作成し、週に2度の学習タイムにおいて、個々の課題を重点的に学ぶようにする。</li> <li>・週に1度、よむYomuワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販ドリル「アイテム」とタブレット端末によるドリルパークを併用して効果的に家庭学習を行う。</li> <li>・江戸川っ子studeyweek!の取組からタブレットを活用した家庭学習を効果的に行う。</li> </ul>
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材研究に励み、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後補習教室「EDOスク」のスタッフと連携し、苦手分野の復習を実施する。</li> <li>・東京ベーシックドリル診断テスト・江戸川区定着度調査の結果から、学習カルテを作成し、児童にとって個別最適な学びの方法や場を提供していく。</li> <li>・夏季休業中にサマースクールを実施して基礎学力の向上を図る。</li> <li>・九九に課題が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販ドリル「アイテム」とタブレット端末によるドリルパークを活用して家庭学習を行う。</li> <li>・保護者と連携して、課題のある学習内容を伝え、ドリルパークの活用を推進する。</li> </ul>
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力学習状況調査や江戸川区学力調査の設問において、教師の助言や賞賛により、意欲が高まったり、理解が深まったりしたといった肯定的な回答が8割以上になることを目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸川区学力調査において、AB層の割合が70%以上になることを目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力学習状況調査や江戸川区学力調査の設問において、「授業時間以外の勉強」1時間以上の回答の割合が80%以上になることを目標とする。</li> </ul>